

PBL II -57 最新の映像・音響・照明機器を使った新しいLIVEの提案／Project Based Learning II

担当教員／Instructor 情報教員, 久保田 晃弘, 森脇 裕之, 原田 大三郎

対象学年／Eligible grade - 開講学期／Semester 2021年度／Academic Year 通年／One-Year

授業形態／Type of class

時間割コード／Registration Code PB57

単位数／Credits 2

備考／Remarks

オフィスアワー／Office hours

【サブタイトル／Subtitle】

【授業のねらい／Course Objectives】

ヒビノ株式会社は過去50年近くに渡って日本のLIVEにおける音と映像のトップのプレゼンターとして牽引してきた。そのヒビノ株式会社が持っている最新の映像と音響又照明に関するノウハウと、多摩美術大学が持っている自由な発想がコラボレーションする意義は大きい。特に大型映像表現を専門的に学べる教育機関はまだ少ないのが現状だ。コロナ禍の中、ライブの在り方が益々問われている。ワークショップという形で様々な実験的なライブへの取り組みを考えることはプロフェッショナルなライブの世界でも有意義である。

【到達目標／Course Goals】

大きく分けて夏のオープンキャンパス時のデジタルディネージ的な発表「DIY IMAGE」と、冬の任意の外部ホールを借り学生諸君の自由な発想を元にLIVEを実施する「DIY LIVE」二つの発表の場がある。どちらもヒビノ株式会社が持つ最新のテクノロジーがサポートする。

【授業の展開計画／Class schedule】

- 第1回 :
オリエンテーション
- 第2回 :
「DIY IMAGE」・「DIY LIVE」の考え方。
- 第3回 :
「DIY IMAGE」に於けるデジタルサイネージの紹介。
- 第4回 :
「DIY IMAGE」 オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージのプランニング。
- 第5回 :
オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージのプランニング。
- 第6回 :
オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージのプランニング。
- 第7回 :
オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージのプランニング。
- 第8回 :
オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージの制作。
- 第9回 :
オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージの制作。
- 第10回 :
オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージの制作。
- 第11回 :
オープンキャンパスにおけるデジタルサイネージの制作。
- 第12回 :
機材の搬入。設営。
- 第13回 :
ソフトの修正。
- 第14回 :
「DIY IMAGE」 オープンキャンパス本番。
- 第15回 :
機材撤収。片付け。
- 第16回 :
「DIY LIVE」の公演について。
- 第17回 :
LIVEにおける映像と音響（万国博覧会や各種展示会において）
- 第18回 :
「DIY LIVE」使用ホールの選定。公演方法について。
- 第19回 :
「DIY LIVE」に出演するバンド及びパフォーマーの選定。
- 第20回 :
各自の「DIY LIVE」に於ける作業の役割分担について。
- 第21回 :
各自「DIY LIVE」の制作
- 第22回 :
各自「DIY LIVE」の制作
- 第23回 :
各自「DIY LIVE」の制作（中間報告。）
- 第24回 :
各自「DIY LIVE」の制作
- 第25回 :
各自「DIY LIVE」の制作
- 第26回 :
各自「DIY LIVE」の制作。（最終確認。）
- 第27回 :
機材の搬入。ステージの設営
- 第28回 :
現場でのテクニカルリハーサル
- 第29回 :
現場でのゲネプロ。
- 第30回 : 「DIY LIVE」本番。 撤収。後片付け

【履修上の注意事項／Notices】

グループワークとなる為に各自の役割分担を把握しワークショップに臨んでほしい。コロナ禍がいつまで続くか分からないがその時の状況を見て柔軟に対応する。

【評価方法／Evaluation】

プロジェクトへの参加度・貢献度。考え出したアイデアの独自性。出席点。

【テキスト／Textbooks】

特になし。

【参考文献／Bibliography】

授業内で指示。

【準備事項／Preparation】

なし。